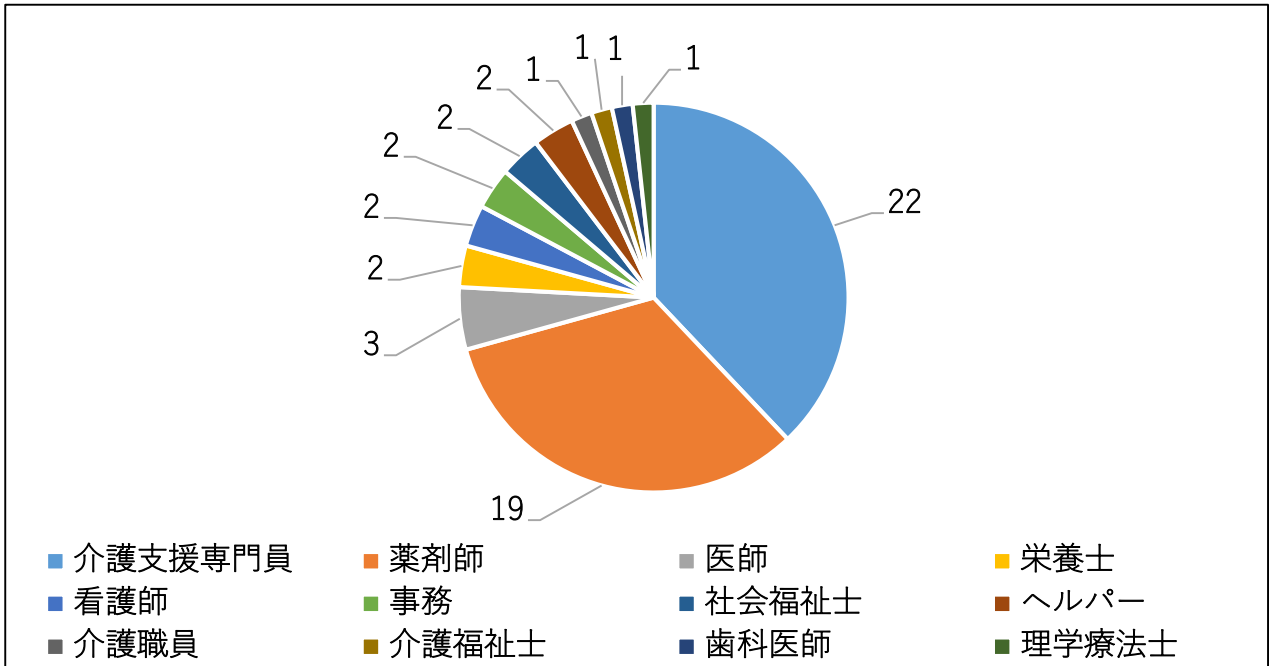
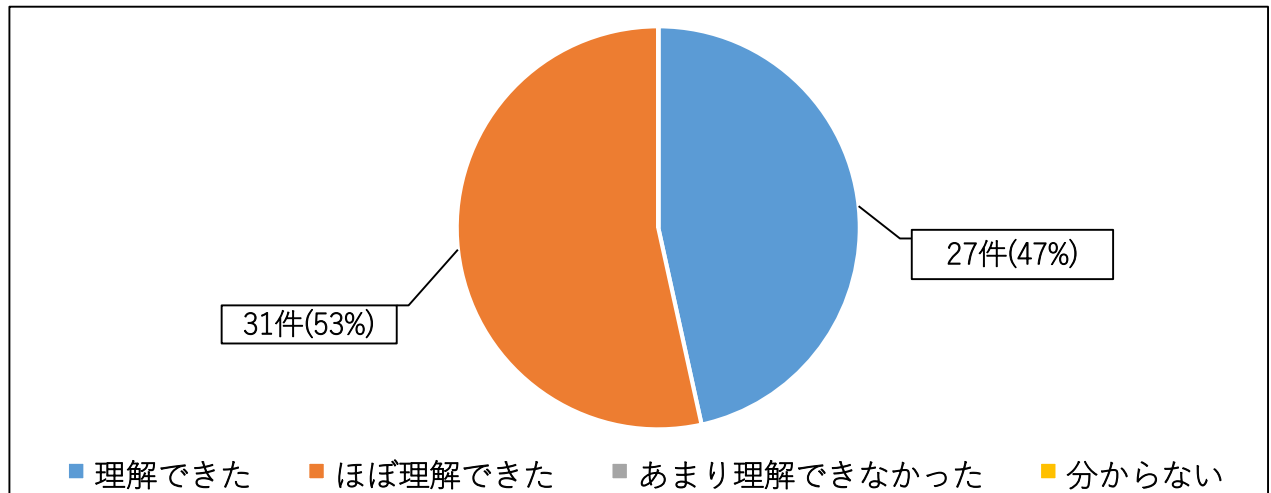


# 第7回多職種連携勉強会 ～アンケート結果～

## 問1 職種



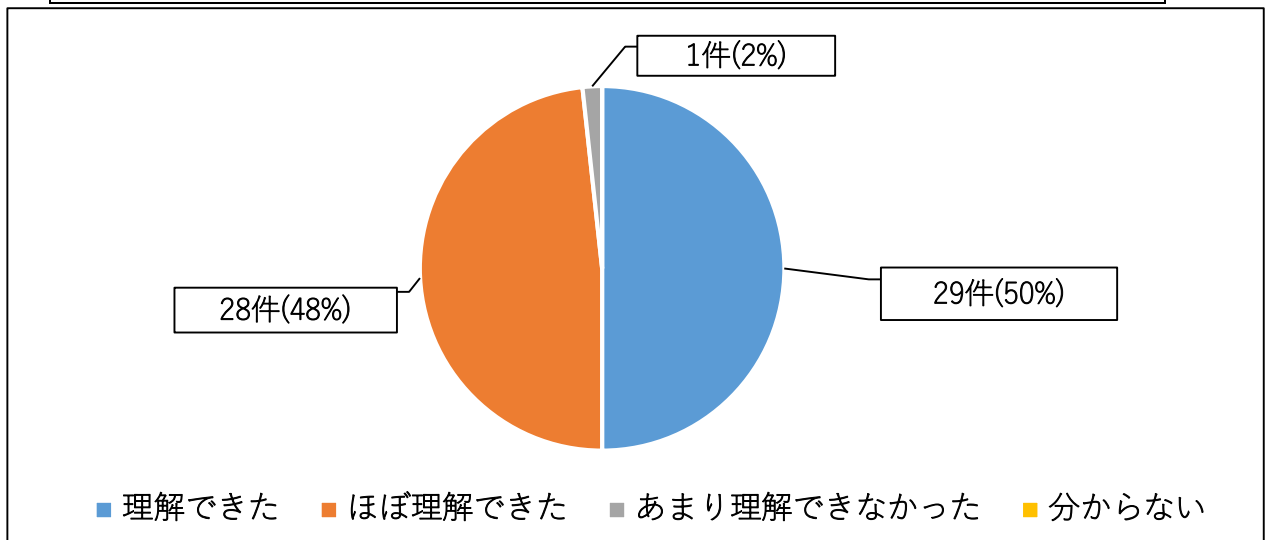
## 問2 「地域包括ケアの中での下松中央病院の役割」の内容は、いかがでしたか？



### 【ご意見】

- 普段詳しく知る機会がないため、今回の動画で詳しく知れたことは良かった。該当の患者さんを紹介するための知識を得ることができた。
- 実際どのくらいの人が必要としているのか、又利用されているのか具体的に知りたい。
- 地域連携室と密に連携していきたいと思います。
- 医療機関の位置づけや役割を知ることができて、良かったです。
- 訪問診療・往診など訪問サービスを行っておられることを初めて知ったので、良い情報が得られました。訪問診療と往診との違いや訪問看護等のことなどが理解でき役立ちました。
- 気になるサービスにどうアプローチ、相談したらよいのか分かりました。訪問リハや訪看についてはサービスがあること自体認識がなかった。
- 調剤薬局では病院内での医療介護の活動は分かりませんので、このように病院内での活動を詳しくお聞きすることができて良かったです。
- 下松にある他の医療機関が地域包括ケアにどのように携わっているか興味がわいたので教えてほしい。

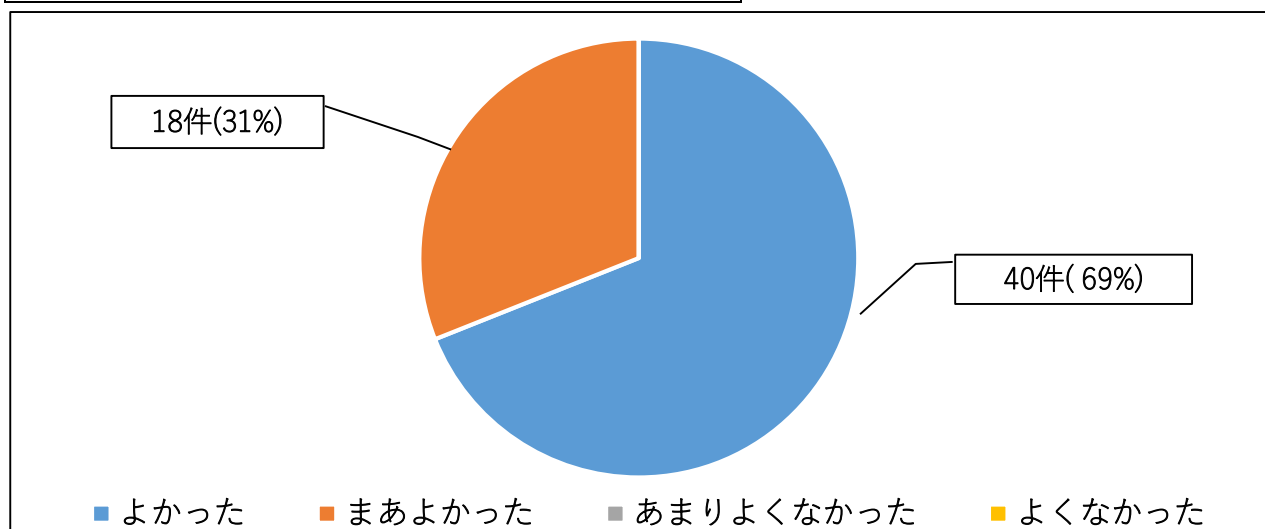
問3 「下松市地域包括支援センターの活動について」の内容は、いかがでしたか？



【ご意見】

- 地域包括支援センターの活動内容について、再確認できた。普段からの観察、声かけ、関わりが病気の早期発見につながるため、知り得た情報を共有していきたい。
- 成年後見制度は最近よく目にしますが、いろいろな高齢者の利用できる制度が理解出来ました。自分自身のためにもなりました。ありがとうございました。
- 店頭で不安（認知が出ているが特に何も支援を受けていない）になる患者さんがたまにいらっしゃいます。どの程度なら連絡した方が良いのか、連絡する前に確認すべきことなど知りたい。（YouTube だと有難い）
- より広く一般への理解が進むようさらに SNS などを利用しつつ多様な形で理解を広めていけると良い。
- 活動内容を知ることができ、相談の窓口を必要な人に伝えていけたらいいと思います。
- 地域包括支援センターの活動されている内容をもっと市で広報活動されたら市民に理解されると思う。
- 虐待を疑うケースなどはとても判断に迷いますし、当事者に伝えるにもどう伝えたら？と悩みます。事例を伺えたらいいなと思います。
- 健康サポート薬局の準備を始めたところです。地域包括支援センターの活動を知ることができ、良かったです。

問4 YouTube を使用した勉強会は、いかがでしたか？



### 【ご意見】

- QRコードのためすぐに動画視聴ができよかった。時間も自分の余裕のある時に視聴できるためしっかり学びができた。
- 画像、音声ともにクリアだったため試聴するのに不都合はなかった。オンデマンドで見られ、また後から見返すことができるのでよかったと思う。
- こちらの機能の問題ではあるが、アクセスがやや難しかったり、観にくい聞こえにくいことがあった。
- 録画のため、その場での質疑応答はできなくなります。後々質問があった時に、そのまとめの送付や質問の連絡先があるといいと思われまます。
- コロナ禍で仕方ないと思いますが、グループ活動ができればと思います。Zoomでも全体講義のあとグループ分けができ話し合いができます。それを利用するのもありかと思います。
- 時間の余裕がある時にゆっくり見ることができたので、非常に良かったです。今後もYoutubeでの勉強会を期待します。
- YouTubeでも新しい情報をお知らせいただくと分かりやすく助かります。
- 都合の良い時間に講座を受けることができたので、受けやすかったです。聞き逃したところや理解できにくかったところを再度聞けるのも良かったです。

### 問5 連携で困っていることや他の職種の方に伝えたいことがありましたら、お聞かせください。

#### 【ご意見】

#### <薬剤師>

- 多職種との連携がなかなか取れない。連携をスムーズにするため市のすべての情報を一つにまとめて関係各所に伝えるシステムが必要と思います。
- 在宅患者に対して、もっと薬局を利用して頂きたい。
- これくらいのことで連絡していいのだろうかと考えてしまい、そのままになってしまうことがあるので、その点についてはこちらから積極的に情報を提供していこうと思う。
- 他職種の人も薬の管理をされることが多いようですが、多科にわたり受診や薬のある方の管理は完全にできてはいない様子です。一本化できる薬剤師の強みを理解してもらい、薬の管理は薬剤師に任せてほしいです。
- 患者さんについて看護師さんともっと気軽にやり取りがしたい。
- 薬剤師です。小さな相談でも言っていただければと思います。
- 多職種の連携でのルートを作っていただけると動きやすい。
- 地域医療、介護に加わっていきたいと思っておりますが、どこから連携していけばいいのか分かりません。

#### <介護支援専門員>

- コロナ禍のため直接顔を合わせることができず、連携が難しい。文書だけになってしまう。
- 担当している利用者の入院に際し、情報提供し連携を図れる様努めたが、医療機関側からは退院時の情報提供や調整もなく、困るケースがあった。
- コロナ禍で容易に病院に行くことができないが、入院時の情報提供を行っていても退院時の連携が行えないことが多い。退院時に聞いたことと実際の本人の状態が違うことがあり困る。
- その機関の「どこ・誰」に連絡したらよいか、医師などはケアマナタイムも参考にはするが、医師のタイプもあり連絡の方法には戸惑うことがあるけれど、連携の意識は高まってきており、以前よりは連絡したり、情報を得たりしやすくなってきたと感じる。市内の(できれば市外も)医師の連携意識はある程度統一していただけると助かる。

- 成年後見人との連携が難しかったケースがあり、どのように連携していけば良いか教えていただきたい。
- 施設ケアマネと居宅ケアマネの違いを実感しているところです。施設ケアマネの強みを感じていますが、居宅ケアマネさんは大変ご苦労されているとつくづく思います。
- 連携室がない医療機関とのやり取り※毎度、受診に付きそうことは難しい。

#### <歯科医師>

- 連携に関しての細かい部分を今回初めて知りましたので、現在のコロナ禍では難しいですが、例として「地域の医師会・歯科医師会の例会などで紹介」していただければもっと広まるのではないかと思います。

#### <栄養士>

- 最近では栄養サマリーがあり、他院の食事状況なども理解しやすくなって助かっています。

### 問6 取り上げてほしい議題や聞きたい講演等がありましたら、お聞かせください。

#### 【ご意見】

- 患者様の中に息子さんと2人暮らしの方がいます。かなり物忘れがすすんでいる様で、薬局に相談に来られるのですが、息子さんとのコミュニケーションがほぼないと言われます。このような場合、薬局が勝手に支援センターに相談してよいのか迷います。
- 看護師さんが訪問先で行っている仕事の内容。患者さんの負担を考えてなるべく全て自分でしようと思われているように感じます。(お手伝いできることを探したい)
- 認知症の単位の取れる講演をお願いします。
- 小児在宅や緩和医療での疼痛管理など、少し不安があるので教えていただけると嬉しい。
- 介護支援をされていて、困ったことや良い方向に向かったことなど、具体的なお話をしていただくと分かりやすい。
- 連携された事例を聞かせていただきたいと思います。
- 地域権利擁護活用方法について。
- 身寄りがいない独居高齢者や高齢夫婦のサポート体制(ネットワーク)をどのように作り上げていくかを留意点など
- 地域ケア会議に参加したことがなく、実際どのような話をされているのか伺いたいです。
- 下松市民ではない患者さん(光市、周南市)からも質問があり下松市民以外は利用できる方法あるのか、や市をまたいでの利用について教えてほしい。

#### 【総括】

この度はアンケートにご協力をいただきありがとうございました。  
 皆様からいただいた質問や課題については、今後の多職種連携勉強会など、色々な機会  
 で情報提供やディスカッションなどを行っていきたいと思います。  
 今後とも、在宅医療・介護関係者間の円滑な連携のため、ご理解・ご協力のほどよろしく  
 お願いいたします。